

休み時間に地震が起こったら

児童たちは、今までの避難訓練の成果として、教室での地震発生時の対処の方法、その後の教師引率のもとでの避難方法については理解しており、速やかに行動することができる。しかし、もしも地震が休憩中に起こったらどうだろう。場所の危険要因を考え、気付き、安全な避難場所や避難経路を決定することは、防災意識を高める手立てとして有効である。

[1 時間目]

① 今、地震が起こったら、どうするかを確認する。

(05/05)

T: 「今、地震が起こったら、どうしますか。」

T: 「デジタルナマズを流します、やってみるよ。」

児童全員が「机の下に隠れる」と答え、実際にデジタルナマズを流しても、迅速に机の下に隠れることができていた。その後の行動についても、先生の指示を聞き、速やかに避難することを確認した。

② もし、休憩中に地震が起きた時のことを考える。

(05/10)

T: 「休憩中どこにいますか。」

C: 「運動場」「図書室」「自然観察園」…

T: 「もしも、その休憩中、そこで、地震が起こったら、どうしますか。」

C: 「先生がいないから、どうしたらいいかわからない。」

C: 「みんなバラバラなのに…」

C: 「1人だったらどうしたらいいのかわからない。」

児童が、休憩中に実際に地震が発生したらどうするか問いに、未体験のことなので、「どうしようか。」「わからない。」というつぶやきが教室に響き、多くの児童が考え込んでいた。その様子を見て、「今までは、考えたことがないかもしれないけど、いつどこで、地震が起きるかわからないので、自分たちで考え、行動できるようにしましょう。」という説明を付け加えた。

③ その場所のことをしっかりと想像し、危険要因を考える。

(10/20)

T: 「では、休憩中にいるであろう場所を頭で想像して、どんなことが危険か考えましょう。」

C: 「運動場では、サッカーゴールや遊具が倒れるかもしれない。」

「図書室では、本や本棚が倒れる。」

「教室の中で、机が倒れたり、ぐちゃぐちゃになったりする。」

「自然観察園は、木が倒れるかもしれない。」

児童が、今までの生活体験や知識などからその場所について、あらゆる角度から危険なことを考えた。自分の選んだ場所だけでなく、友だちの選んだ場所についても危険要因を考え、その考えを共有させるために、ワークシートに記入させ、そのことを赤い付せんには書き、安全マップに貼らせた。

④ 既習事項や生活経験から、危険を回避するための行動を考える。

(05/25)

T: 「そこで、どんな行動をしたらいいか考えましょう。」

C: 「建物に近づかないようにし、運動場の真ん中に集まる。」

「持っているもので頭を隠しながら逃げる。」

「机の下に隠れる。」「棚の下敷きにならないように部屋の真ん中に行く。」

「みんなで声をかけあって逃げる。」

⑤ 実際にその場所に行き、調査し、安全な避難方法を考える。

(20/45)

T: 「では、これから実際にその場所に行き、どのような危険があるかしっかりとまわりを見て調べ、写真を撮ってきましょう。また、その場から安全にどこに避難するかを考えましょう。」

休憩時間にいるであろうと予想した場所ごとに、グループに分かれ、デジタルカメラを渡し、調べさせた。実際の場所に行き、危険場所を写真で撮らせることで、実践的な経験を積ませ、危険を考えることをねらった。その上で、避難経路を考えさせた。



[2 時間目]

① 撮ってきた写真とその場の様子をもとに、グループ内で意見をまとめる。 (15/15)

T: 「前の時間の写真とその場で見たことや感じたことをグループで話をしましょう。そして、青の付せんに書き、安全マップに貼りましょう。」

図書室グループの話し合い

「行く前は、本棚から本が落ちてきて危ないなと思っていたけど、行って見て、もしかして本棚が倒れるかもしれないので、図書メディアから逃げたほうがいいと思った。」

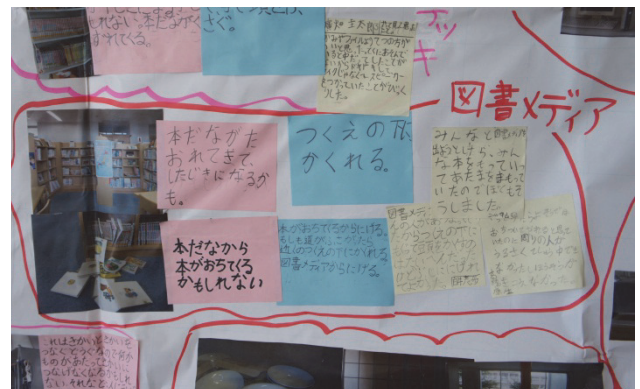
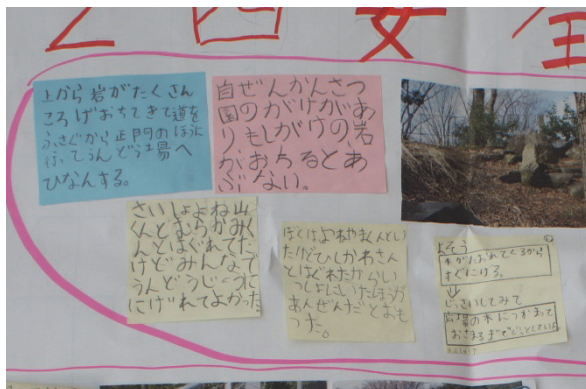
教室グループの話し合い

「扉がしまっていて、地震でゆれたら扉が開かなくなるかもしれない。その時は、ベランダから非常階段に回って、運動場に逃げよう。」

予想したことをもとに、その現場に行き、実際に調べることで、活発な意見交流ができ、それぞれの考えの深まりが出た。

② 教室で予想したこととその場所に行き、感じ考えたことを比較する。 (10/25)

T: 「安全マップを見て、教室で予想した赤い付せんとその場に行って予想した青い付せんを見比べて、違いについてまとめよう。」



先生が近くにいなくても、自分たちで考え行動するという視点を持たせ、その状況に応じて、児童が判断し、行動することができる力を育てる。

③ グループごとに話したことを交流し、避難場所や方法を決定する。

(13/38)

自然観察園グループ

「自然観察園にがけがあり、もし、上から岩が落ちてくると危ないと思っていたけど、上から岩がたくさん落ちてきて、道をふさぐと、危険なので、正門の方にまず行き、フェンスに沿って、運動場に逃げる。」

和室グループ

「地震が来たら、何かで頭を隠そうと思ったら、和室には何もなかった。あと、もし、フスマがしまっていたら、開かなくなったり、倒れてきたりするかもしれないので、和室の真ん中に行くか、早く、運動場に逃げる。」

⑩ 学習を振り返り、印象に残ったことを発表する。

(07/45)

T: 「前時と本時の学習を振り返って、勉強する前と今で変わったことについて書きましょう。」

C: 「先生がいる中で、いつも避難訓練していたので、地震が起きても、みんなと一緒に大丈夫かなと思っていたけど、休憩中、一人でもみんなと声をかけあって逃げようと思います。」

C: 「地震が起きても、もし、1人でもあわてず、落ち着いて、避難しようと思います。」

T: 「今日勉強したことを今度ある避難訓練で実際にやってみて下さい。今度の避難訓練は「休憩中にもし地震が起こったら」という設定です。」

T: 「あと、その避難訓練の振り返りを安全マップに貼って、このマップは完成です。」

T: 「今回勉強したように、その時々でしっかりと考え落ち着いて行動していきましょう。」

